

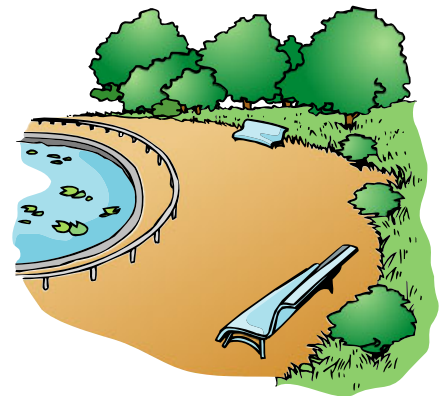


## 2. みどりのはたらき

春の芽吹きや木漏れ日の中の散歩に気分がいやされたことはありませんか？みどりは私たちの生活に潤いを与えてくれるだけでなく、いきものすみかとしても重要です。

春日市の写真を見てみましょう。市内にはまとまった山林はありませんが、公園や神社の森などがオアシスのように光っているのが分かります。

これらのみどりは街路樹のみどりで網の目のようにつながっていて、南部の山林（ゴルフ場）からいきものが行き来できる道を作っています。そのため、まちなかであっても、多くのいきものとあえるチャンスがあるかもしれません。



資料：国土画像情報（カラー空中写真）国土交通省

# 春日市のみどりの中で生活するいきものたちを紹介します。

◎ **神社の樹林地** 神社は昔ながらの自然な森の姿をかいま見ることができます。

## ■アオバズク



九州環境管理協会

大きな木の穴で子育てするフクロウの仲間です。夜間に「ホッポーホッポー」と鳴きます。

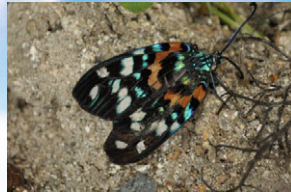
## ■アナグマ



九州環境管理協会

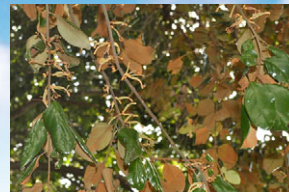
森林に住み、50~100mに達する複数の入口がある巣穴を掘って生活しています。春日市では、春日神社にいたことが確認されています。

## ■サツマニシキ



ガの一種ですが、大変美しい姿をしています。幼虫はヤマモガシの葉を食べます。春日神社で見られます。

## ■オオバヤドリギ



他の木から養分をもらう寄生植物です。春日市では熊野神社のオオバヤドリギとして、市の天然記念物に指定しています。

◎ **公園の樹林地** 春日市の大きな公園では、山にすむいきものも見られます。

## ■ヤマガラ



九州環境管理協会

クチバシのもの部分から胸にかけて黒い帯模様があります。白水大池公園などの樹林地帯に生息しています。

## ■ムクドリ



九州環境管理協会

オレンジ色のくちばしと白い顔が特徴です。市街地では街路樹を集団でねぐらとして利用している姿も見られます。夕方の場所取りはにぎやかです。

## ■アライグマ



愛くるしい顔をしていますが、成獣になるにつれ気性が荒くなり注意が必要です。特定外来生物に指定されています。

## ■イタチ



九州環境管理協会

小柄な体格ながら、ネズミや小鳥を食べる肉食獣です。道路の側溝などを駆けてゆく黄色っぽい後ろ姿を見かけることがあるかもしれません。



## コラム

### ■みどりはたらきからのクイズです

みどりはいきもの大切な生活の場です。しかし、スペースの少ないまちなかでは、みどりを増やすのはむずかしいことです。そこで、次のような考え方をもとに効果のあるみどりの配置を考えることが必要です。みなさんも森の中のいきものになったつもりで、どちらのみどりが生活しやすいか考えてみて下さい。

〈問題〉 どちらのみどりがいきもの生活の場としてよいでしょうか。  
(1)~(4)それぞれで考えてみましょう。

(1)



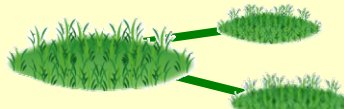
①大きな1つのかたまり

(2)



①お互いが近い

(3)



①みどりの間を街路樹がたなく

(4)



①細長い



②小さく分かれる



②お互いが離れる



②みどりの間に何も無い



②まるに近い

〈答え〉 (1) ① (2) ① (3) ① (4) ②